

GAA・養殖の未来に対処し

SeaWeb シーフードサミットでパネルディスカッション

グローバル養殖アライアンス (GAA) エグゼクティブディレクターウォーリースティープンス氏は、開会プレナリーに参加している3人のパネリスト間にあった水産養殖の将来に、2月9日ニューオーリンズ、ルイジアナ州、アメリカのハイアットリージェンシーで3日間開催された SeaWeb シーフードサミットで、マイケル・ルビノ博士、水産養殖の国立海洋大気庁のオフィスのディレクター、及びシェフ/著者バートン・シーバーで、スティープンスというタイトルのセッションで養殖の将来について話しました「世界プロテイン市場での養殖の影響。セッションを司会したウィリアム DiMento は、ハイライナー食品のための持続可能性のコーポレートディレクターである。



スティープンス (右端にある写真) は、世界の魚介類のニーズを満たすための教育との連携の役割に焦点を当てた。現在、養殖は世界的な魚介類の消費量の約半分を表します。それは世界銀行によると、2030年までに62パーセントを実現すると予測している。そのために、追加の15億口...それは魚介類の追加の3200万トンだとし、養殖は世界の魚貝類供給を成長させる唯一の持続可能な手段であるとスティープンス言った。「スティープンスは責任ある養殖に向けて、400以上の聴衆に尋ねた。スティープンスは責任ある養殖財団 (RAF) -administered の立ち上げを発表する機会を利用して責任ある養殖の範囲の資金を調達し、主導権をこのプロジェクトに与え、最終的に世界的に認定された魚介類の生産の可能性を向上させる。RAF は、GAA の慈善部門です。

それは彼が、出席者の約半数が、動物の健康を識別していることを認識し、GAA の